

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第2学年	NEW FLAG Ⅱ・システム英単語

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- コミュニケーション英語Ⅱの授業は「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。読んだり、書いたり、聞いたりする活動を多く行い、本文の音読活動がその核になります。積極的に取り組みましょう。
- 英語の語彙は、日々の単語の音読活動にしっかりと取り組み、語彙を増やしていきましょう

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3単位）及び「英語演習」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	コミュ英Ⅱ インタビューテスト 英語演習 インタビューテスト	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	コミュ英Ⅱ 定期考査 英語演習 定期考査	・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	コミュ英Ⅱ 授業内で行うリスニング活動	・説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	コミュ英Ⅱ 授業内で行うリーディング活動 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実 施 方 法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Chapter1 (7 時間)	桜を植えることに一生を捧げた佐藤さんの話。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、話す	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、標識のメッセージ性について話す。	・桜についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、桜について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受け身、関係代名詞・関係副詞を理解し、文をつくることができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter 2 (7 時間)	日本で英語が話せるようになることは決して不可能ではないということを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語学習についての経験や考えを間違えることを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、英語学習について知っている情報や、経験を、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・英語学習について知っている情報や、経験について考えていることを、間違えることを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれた学習や勉強について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれた内容について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれた学習や勉強について、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語学習方法や時間の違い、コツについて理解し、概要や要点を捉えることができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・文化の違いや外国語学習のコツについて理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形・SVCの構文を理解し、文を作ることができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Chapter 3 (9 時間)	ローザパークスのバスボイコット事件がどのように歴史を動かしたのか。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		対話で日本語を使わず、積極的に英語を用いるように努力する。	・ワークシートを利用して、今のバスのルールとの違いをペアで出し合う。	積極的に英語を使っているか。ペアで協力して活動ができているか。	
		「外国語表現の能力」			
		・疑問詞＋不定詞を用いて、自分の考えを表現することができる	・ワークシートを用いて、セクションごとに出来事の問題点について、説明する。	・ 当時の問題点を指摘する内容を簡潔に説明する文章を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・物語の概要や要点を捉えることができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、当時の様子に関してイメージするとともに、その内容を理解する。	・当時の状況についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
・SVOC・不定詞の受身・疑問詞＋不定詞について理解し、文を作ることができる。	・ 該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・ 該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		
Chapter 4 (12 時間)	自分と愛ととの考え方の違いからコミュニケーションの際に生じる誤解があることを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに、本文の音声聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、誤解が生じる理由についての対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語理解の能力」			
		・コミュニケーションでうまれる問題点について理解し、概要や要点を捉えることができる。	・セクションごとに、本文の音声聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・ワークシートが適切に完成できているかどうか	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
・分詞構文・it と one の違い、不定詞の否定を理解し、文を作ることができる。	・ 該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・ 該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		

Lesson 5 (10 時間)	内視鏡とカプセル型ロボットの発展と、それらの利点・欠点について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に水問題についての情報や考えについて話す。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・間違うことを恐れず、情報や考えについて話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて情報や考えなどを、聞き手に伝えるように話す。	・内視鏡とカプセル型ロボットの発展と、それらの利点・欠点について概要や要点を捉えることができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、科学技術についての情報や考えなどを、聞き手に伝えるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・内視鏡とカプセル型ロボットの発展と、それらの利点・欠点について理解することができる。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
Lesson 6 (10 時間)	小笠原諸島の世界遺産登録の背景と、環境問題について。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・環境保護に対する自分たちの責任について積極的に話す。	・ワークシートを利用し、キーワードをもとに各写真を示しながら環境問題について簡単な英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に小笠原諸島の歴史についての情報について話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・小笠原諸島の世界遺産登録の背景と、ガラパゴス諸島の事例から得られる教訓について概要を話すことができる。	・小笠原諸島を象徴する写真を示しながら、その歴史について説明し、自分の考えを話す。	・小笠原諸島についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・小笠原諸島の世界遺産登録の背景と、ガラパゴス諸島の事例から得られる教訓について理解する。	・関連した画像などを見ながら、小笠原諸島について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・小笠原諸島について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文(現在分詞)、「推量」を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞を理解し、文を作ることができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (10 時間)	ジョン万次郎の生涯と、日米の架け橋として彼が果たした役割について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、セクションごとにジョン万次郎の生涯について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞 ... 前置詞、前置詞＋関係代名詞を用い、状況を説明できる。	・例示する表現を用いて簡潔な説明文を書く。	・ジョン万次郎についての説明を読み、その内容について、写真やグラフを見せながら、簡潔に説明する文章を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ジョン万次郎の生涯と、日米の架け橋として彼が果たした役割について理解することができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、ジョン万次郎に関してイメージとともに、その内容を理解する。	・ジョン万次郎についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文(過去分詞)、関係代名詞 ... 前置詞、前置詞＋関係代名詞を	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 (12 時間)	公共交通機関の問題点と LRT の利点について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに、本文の音声を読み、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、公共交通機関についての対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語理解の能力」			
		・従来の交通機関の問題点と LRT の利点について理解し、概要や要点を捉えることができる。	・セクションごとに、本文の音声を読み、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・ワークシートが適切に完成できているかどうか	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・S＋V＋O＋C(＝原形不定詞、現在分詞)、S＋V＋O＋C(＝過去分詞)を用い、状況を説明できる	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。